

★漢方あれこれ★

◆回想法◆

認知症予防に

太田 順康

認知症の人が子どものころにやった、お手玉、独楽回し、メンコ、ベーゴマなどをやったり、子どものころの出来事を回想したりすると、脳が活性化して認知症が改善されたり、予防が出来るとの情報があります。

私もそろそろ危ないので、この回想法に取り組んでみたいと思います。

12月になると、明治生まれの親父が正月の飾りつけをしながら調子外れで「お正月さんござった、つよ(杖)のさきに味噌つけてねぶりねぶりござった、何処までござった、広江の橋までござった。」と歌っていたのを思い出します。

「お正月の神様が、杖の頭に味噌を付けて、舐めながらおいでになった、何処までおいでになった、広江の橋までおいでになった。」の意味です。もうすぐ橋を渡って町内に来てくれると、正月の神様を待っている歌です。

広江の橋は町内の端の場所です、神様は歩いて地域の入り口から町内に入ってきたようです。

そう云えば、厄病神も部落や地域のはずれから入ってくるようです。村のはずれにはお地藏さんが立っていて、村を守ってくれているのはそのためかな？

私の子どものころには、町内のはずれの辻々に、棧俵にご幣、赤飯、お神酒を載せて置いてありました。犬が喜んで食べていました。親父に聞くと「疔瘡の神様がやって来て、それを食べたり飲んだりしてもらっている間に川に流して去って貰うんや」とのことでした。赤ちゃんが生まれるとそこの家の人が置いていたようです。

今でも藁で作った獅子頭を村のはずれや、家々の玄関に置いて厄病神が入って来るのを防いでいる村落があるとTVで見ました。

どうも藁は人の世界と神様や異界のものを仲介する力があると考えていたようです。しめ縄、輪飾り、などもその延長ですね、正月の神様に玄関から入って貰いたいとの願いですね。

註 棧俵 (さんだわら)

米俵 (大黒様が乗っているやつです) の両端にある藁で編んだ円い蓋の事です。



すやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30~

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<12月の予定>

2日(金) 9日(金) 16日(金)

寒暖の差が大きくお天気が不安定なこの頃です。

11月末には雪の便りも聞こえてくるようになって、冬支度が忙しくなってきました。東京では観測史上初めての積雪。福島県沖ではまた大きな地震があって、お住まいの方たちのお気持ちはどんなかと思いやられます。紅葉に彩られていた松尾池にオシドリやカモたちの数が増し、冬の到来です。

昔のこと・今のことを思い出し、おしゃべりしながら元気に歩きましょう。

§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師) 今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

5日(月) 12日(月) 26日(月)

§ 12月の休診日

23日(金) 27日(火)~年末休業

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

肺神銭(お供え)の台盤としたり、疔瘡の神や、流し雛をのせて川に流したり、また胎衣(えな、胎盤)をのせて埋めるなど、人と神や異界のもとの交わりの道具として様々な用いられました。

最近はお米が俵に入っていないので棧俵を見たことのある人は少ないようです。昭和23年頃はまだありました。子どものころ、ボーイスカウトのキャンプで座布団代わりに支給されていました。(つづく)